

平成6年度目録所在情報サービス関係の休止

1. 目録所在情報サービスの休止予定

本年度は、当センターメインシステムの西千葉地区電子計算機棟への移転作業が予定されておりますので、次の期間サービスを休止することになりました。ご迷惑をお掛けしますがご了承ください。

移転に伴うサービス休止期間

平成6年12月17日(土)～平成7年1月7日(土)

その他、通常の休止予定は次のとおりです。

- 土曜日、日曜日、国民の祝日及び振替休日
- 毎月第4木曜日の12時以降
システムの保守作業等のため
- 年末年始
おおむね12月28日～1月4日

2. 学術情報ネットワークの休止予定

西千葉地区電子計算機棟への移転作業のため、次の期間サービスを休止いたします。

1. 移転に伴うサービス休止期間

平成6年12月17日(土)～平成6年12月23日(金)

2. 平成7年3月31日(金)の13時～17時

保守作業のため

参加組織情報の表示及びメンテナンス機能の運用開始

[ニュースレターNo.44](#)でお知らせしました参加組織情報の表示及びメンテナンス機能について、初期データの準備が整ったため、平成6年6月3日から運用を開始しました。

1. 参加組織情報の表示

ニュースレター巻末に掲載している連絡窓口一覧表のデータに基づいて、初期データを作成しました。分館毎に連絡窓口が指定されていた場合には、該当する参加組織にデータを割り振り、それ以外は全て機関内の参加組織は同一の連絡窓口にしてあります。

差し支えのある場合には訂正してください。

2. 参加組織情報の修正

記録してある参加組織情報に変更等が発生した場合、各参加組織の機関内特権IDを用いて修正してください。修正方法等についてはニュースレターNo.44をご覧ください。

目録システム開発(第2期 雑誌分)の実施

[ニュースレターNo.42](#) および [No.43](#)でお知らせしました目録システム開発(第2期 雑誌分)について平成6年4月より実施しました。

1. 参照MARC(JP(S))への国立国会図書館所蔵情報の表示

JP(S)書誌レコードに国立国会図書館所蔵情報フィールド(CLN: 請求記号 HOLD: 所蔵巻号等)を表示するようになりました。この2フィールドは参照MARC上でのみでの表示となります。

2. 件名フィールドの追加

図書書誌レコードと同様に、雑誌書誌レコードについて件名フィールドの表示および入力が可能になりました。件名フィールドの要素、記述文法等は図書書誌レコードと同様です。

既存のNC雑誌書誌に件名フィールドの追加修正を行った場合は、センターに雑誌書誌修正の報告を提出する必要はありません。

3. 参照MARC(LC(S))のTRフィールドでのキリル文字変換

本標題がロシア語の場合、参照MARC(LC(S))のTRフィールドをキリル文字(原綴)で表示するようにしました。また、LC(S)で今までTRフィールドに表示していたローマ字翻字形はVT:RM:として表示します。

USMARCデータの本標題言語コード(タグ番号008 35~37)がrusの場合に、TRフィールドのみをLC翻字表によってローマ字からキリル文字(原綴)へ変換処理しています。従って、流用入力時には以下のことに留意し、必ず現物で確認を行うようにしてください。

1. 機械的な文字列変換を行っていますので、変換が不完全な場合もあります。
2. TRフィールド以外については、従来通りローマ字翻字形のままです。
3. 本標題がロシア語以外のものは、従来通りローマ字翻字形のままです。

書誌調整についての注意とお願い

センターに毎日たくさんの重複書誌・典拠レコード報告をお寄せいただき、感謝しております。また、日頃書誌調整にご協力いただきありがとうございます。センターでは、お送りいただいた報告書・情報源等をもとに、可能な限り迅速に処理を行っています。最近の作業で気づいた点がありますので、以下の項目について特に各参加組織においてご確認くださいようお願いいたします。

1. 重複注記の扱いについて

ニュースレターNo.31でもお知らせしましたように、現在センターでは以下のいずれかの方法により、重複統合の処理を行っています。

1. 報告等をもとに調査した結果重複レコードであることが確定したのものに対して、重複レコード処理プログラムにより、リンクの付替(所蔵、書誌)、削除すべき重複レコードのデータベースからの抹消処理を行う。

(OTHNフィールドに SVCBN99999999 と記入されているものを検索し、統合先として記録されている書誌にリンクを付け替える

2. 上記のプログラムで処理できないもの(例えば、重複レコード双方に同一参加組織で同一配置コードの所蔵レコードがリンクされているものや、書誌階層のとらえ方の相違があるもの等)は、電話、FAX、ニュースレター等で所蔵の付替をセンターから各参加組織に依頼し、所蔵がなくなり次第、重複レコードを削除予定レコードにする。

このうち2) の場合では、依頼した所蔵付替が完了するまでの間に、目録担当者がどちらのレコードを採用すべきか判断に迷うことのないよう、センターでは削除対象レコードに対して次のような注記を記録しています。

NOTE: @@@99999999, YYMMDD ==>BN99999999
 ↑ ↑ ↑
 センター管理番号 入力日付 付替先書誌ID

この注記は、重複レコードであることを確定した後にセンターで書き込んでいくものですので、各参加組織の目録担当者は書き込まないようにしてください。また、OTHNフィールドについても、センターの確定作業によって記録しておりますので、同様の扱いをお願いいたします。

2. 所蔵付替依頼済のレコードの扱いについて

現在、所蔵の付替依頼を、電話、FAX、ニュースレター、リストの送付等によって行っていますが、なかには所蔵レコードの付替が終了しないために削除できないままとなっている書誌レコードに、別の参加組織が誤って所蔵レコードをリンクしてしまうといった事態が発生しています。そのため、今後所蔵付替を何らかの方法によって依頼した場合には、依頼後半年が経過したレコードについては、所蔵付替が終了していなくても、全体の整合性を尊重し、重複レコードおよび所蔵レコードをデータベース上から削除するという運用をいたします。所蔵付替を依頼した際には、できるだけ早めに処理して下さるようお願いいたします。

3. 書誌修正報告の扱いについて

今までのニュースレターでは毎号、書誌調整の一部として、修正のあった書誌について「書誌修正連絡(所蔵付替不要)」として載せてきました。平成5年12月にコーディングマニュアルの修正指針が刊行されたため、今号より、その方針にしたがって掲載するかどうかを判断することとしました。このため、各参加組織から修正の報告があっても、掲載しないものもありますのでご了承ください。

4. 情報源添付のお願い

なお、通常の「目録情報に関する質問書/回答書」を用いてお寄せいただいた重複書誌・典拠レコード報告のなかには、重複レコードかどうか判断できない場合もありますので、情報源等の資料をできれば添付して下さるようお願いいたします。ニュースレターNo.26でもお知らせしましたように、資料種別(GMD)、標題・責任表示(TR)、版表示(ED)、出版事項(PUB)、形態に関する事項(PHYS)等が全く同じで、明らかに重複と思われる書誌レコードに限り、「重複書誌・典拠レコード報告書」を用いてご報告ください。